

Youth Manna

マルコ1:35
さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/2/6(月)

マルコ7:24-37

ある女性が、イエスのことを聞きつけやって来た。なんでも、彼女の娘が悪霊につかれており、助けてほしい、その一心だった(25-26)。女性とイエスのやり取りをまとめると↓
①イエスは、異邦人であるにもかかわらず彼女を助けた。
②彼女はイエスの回答に食い下がったが、それでもイエスは彼女を拒否せず、助けた。
③イエスは娘と同じ空間に居たわけではなかったが、悪霊を追い出すことができた。イエスが例えその場にいらなくても、イエスの力は働く。

★この女性から学べる姿勢には何があるかな？彼女は、イエスから与えられた回答が自分の思ったものでなくても主張し続けたね。結果、イエスは「そこまで言うのなら(29)」と彼女の願いを聞き入れた。願い求めることは悪いことではない。君が願っていること、希望をノートに書いて祈り続けよう！

2023/2/7(火)

創世記11:27-12:20

●1-3節を読もう！神様はアブラムにどんな命令を言われたかな？また、神様の命令に従うとき、どんな祝福があると約束されただろうか？
●3節「地のすべての部族」の中には、あなたも含まれているだろうか？アブラムは後に「信仰の父」と呼ばれる。それは、信仰によって神様に義と認められることがアブラムを通して表されたからなんだ。
血筋や出生、行いや人の努力によってではなく、イエス様を信じる信仰によって救いが与えられるという祝福の約束なんだよ(ガラテヤ3:6-9)
●アブラムは飢饉から逃れるためにエジプトに下ったけど、この時アブラムは神様に相談していないように見えるね。君を導いてくださる方である神様に、今日の1日を祈って始めよう！

2023/2/8(水)

創世記13章

アブラムはエジプトを出て、ネゲブを通り、最初に天幕を張った地、祭壇を築いた場所に戻ってきた。アブラムはそこで主の名を呼び求めた。
約束の地で新しい出発をと考えたアブラムであったが、すぐに問題が起こる。アブラムとロトのそれぞれの家畜の数が多すぎたために、牧者の間に争いが起きた。アブラムは争いを避けようと、別れて住むこと、ロトが住む場所を選択することを提案した。ロトは「自分のために」(11)選び、アブラムは神の栄光を考えたて判断した。
主はアブラムに、主の約束に基づく視点を持つように勧めた。不公平だと感じるようなことがあっても、主の視点に引き上げられるよう祈ろう！

2023/2/9(木)

創世記14章

アブラムは当時の大きな戦争に巻き込まれ、おいのロトが住むソドムの町は財産や食料、人々が奪われる事態になっていた。
そこでアブラムはロトを取り戻すために訓練されたしもべを率い、結果的にアブラムは全ての財産を取り戻し、ロトとその財産、人々を取り返した。間違いなくそこには神様の守りがあった。

聖書を読む時、特に旧約の創世記などはむかし話の感覚で読むことはないだろうか？神様が私たちに用意された聖書全体を理解するためのものとして覚えて読もう！
どのような時も神様を覚えて生きよう！！今神様のためにやるべきことは何だろうか？

2023/2/10(金)

創世記15章

アブラムの心をご存知だった神様は、「恐れるな」と語りかけられたよ。続く「あなたへの報いは非常に大きい」という神様のことばに対して、アブラムは心にあったことを正直に神様に語った。そして神様はアブラムに答えられ、アブラムを外に連れ出し、彼の子孫が星のように多くなることを約束されたんだ。
●神様は君に親しく語りかけてくださるお方だよ。そして神様は私たちの正直な思いを受け止めてくださるんだ。今君の心にあることで、神様に聞いてほしいことは何だろうか。正直に祈ってみよう。
●アブラムは主を信じ、それが彼の義と認められた。神様はイエス様を信じる私たちも同じように見てくださる。今日も信仰によって歩いていこう！

2023/2/11(土)

創世記16章

サライは自分に子どもが生まれないのを見て、ハガルをアブラムに与えたね。
そこで子どもを授かったハガルは、もともと主人であるサライのことは見下すようになってしまいい、サライも彼女に対して敵対心をもっていた。だけど、神様はサライもハガルも見捨てることはなかったんだ。今日の箇所のように、神様は私たちにとっても『私たちを見る神様』なんだね。その神様の目に心を向けて一日をすごそう！

2023/2/12(日)

創世記17:1-14

ハガルがアブラムにイシュマエルを産んでから13年が過ぎ、アブラムは99歳になっていた。神様はアブラムに語りかけ、かつて神様とアブラムが結んだ契約の更新を行う。神様は自分が全能の神であることを告げ、アブラムには神様への信頼を求めた。そして、再び「あなたを大いに増やす」こと、その結果、アブラムが多く国民の父(先祖)となると約束した。まだ子どもが1人しか与えられていないアブラムにとっては、信じられないような約束である。続いて神様は、神様とアブラムとその子孫の契約のしるしとして、男子が割礼を受けるように命じる。それは割礼という見えるしるしによって神様を覚え、この神様の前に歩み、全き者となるためである。私たちも神様にあって新しい名をいただいた。キリストを信じ、キリストに結びつけられた者は「キリスト者」と呼ばれる。そして、神様が命じられた契約のしるしである洗礼と聖餐によって、恵みの契約を地上での生涯の間、確認し続けるのである。
お祈り 神様、あなたの一方的な恵みによって小さな者を召してください、キリストにある者としてくださり感謝します。あなたの前を今日も歩ませてください。